

委員会等の会議録

1 会議名	第3回愛南町食育推進協議会	
2 議題	(1) 第4次愛南町食育推進計画の素案について (2) その他	
3 開催日時	令和6年12月23日(月) 13時30分から14時40分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 3階 大会議室	
5 傍聴者数	1人	
出席者		
6 委員氏名	若林 良和、岡本 威明、間々田 理彦、影山 康彦、 蓮本 由美子、柴田 具典(代理)、湯浅 良彦、森岡 眞由美、 谷口 さとみ、尾崎 千代子、竹田 英則、坂尾 良美、 木原 荘二、中尾 茂樹	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 荒地 ミドリ 課長補佐 好岡 美智子
8 その他の 出席職員	所属名	保健福祉課、学校教育課、農林課
	出席職員 (役職・氏名)	健康部会 会長 清家 陽奈 教育部会 会長 山川 富美夫 産業部会 副会長 鶴川 知也
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
中川課長	ただ今から、令和6年度第3回愛南町食育推進協議会を開催します。開会に当たり、木原副会長が御挨拶申し上げます。
木原副会長	(開会挨拶)
中川課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この協議会の協議内容については、事業の内容を多くの方々に理解していただくため、会議録をホームページで公開しています。会議の内容を録音しますので、御了承いただきますようお願いいたします。発言の際には、マイクのスイッチを入れてから発言をお願いします。</p> <p>また、本日中尾委員は、業務の都合により、途中で中座されますが、協議はそのまま続けますので、御了承ください。</p> <p>それではここからの協議は木原副会長に進めていただきます。よろしく申し上げます。</p>
木原副会長	第4次計画の素案について、事務局から説明をお願いします
荒地課長補佐	<p>表紙は、愛南町の海をイメージし、食育活動や特産品・郷土料理の写真を使用しています。</p> <p>レイアウトは、ひおうぎ貝のイラストとオレンジを基調としたデザインで、愛南ゴールドを意識した色合いのけい線を使用しています。</p> <p>第1章は、計画策定の趣旨、位置付け、期間(令和7年度から11年度までの5年間)についてです。</p> <p>第2章は、第3次計画の評価(16項目の評価指標に基づく評価、6つの基本方針ごとの取組状況)についてです。</p> <p>第3章は、食をめぐる現状と課題(食生活の変化、健康への影響、食を取り巻く環境や意識の変化)についてです。栄養バランス、運動習慣、共食、愛南町産品の認知度向上、農業・水産業への関心の向上、生活習慣病予防に取り組む必要があります。</p>
木原副会長	第1章から3章までについて、質問等はありませんか。
全委員	(なし)
木原副会長	特にないようですので、次の説明をお願いします。

<p>荒地課長補佐</p>	<p>第4章は、食育推進の目指す方向性についてです。</p> <p>基本理念は、健やかな心と体と地域力による豊かな人間形成で、人づくりの要素を追加しています。</p> <p>重点項目は、体づくり(正しい食の選択)、人づくり(食を通じた人間関係の構築)、町づくり(食文化の伝承と発信)です。</p> <p>基本方針と取組目標は、六つの基本方針(つづける、よくかむ、はぐくむ、いただきます、みつける、ひろめる食育)に沿って政策を展開します。SDGs、SNS、ICTの活用を推進します。</p> <p>第5章は、食育推進の評価指標についてです。</p> <p>第3次計画の評価指標を見直し、国、県の指標と愛南町独自の指標を組み合わせ、一部変更、追加しました。</p> <p>変更点は、(5)学校給食の町内産、国産食材利用割合を金額ベースに変更し、(16)食べ残しに対する意識調査の表現を変更しました。</p> <p>追加指標は、(2)食事を誰かと食べる人の割合で、保護者が共食をしているかという項目と、夕食の共食の状況を追加、(3)地域で共食したいと思う人が共食する割合、(7)食生活で薄味に気を付けている人の割合を追加しています。</p> <p>新たに目標を設定した指標は、(2)(3)(5)(7)に加えて、(11)愛南町産を意識して購入している人の割合、(12)食品ロスに取り組んでいる人の割合、(18)ぎょしょく教育の事業へ参加した人の割合です。</p> <p>(1)食育への関心(中学生85%以上、高校生75%以上)、(14)適正体重の認知度(高校生70%以上、保護者85%以上)について、目標値を引き上げました。</p> <p>(2)朝食の共食者割合、(4)毎日朝食を食べる人の割合、(17)魚を好む人の割合について、目標値を引き下げました。</p> <p>(15)食事時の挨拶に関する指標の目標値について、小・中学生が100%なのに対し、高校生が75%だということが妥当かどうか協議していただきたいと思います。</p>
<p>木原副会長</p>	<p>協議事項に対する意見はありませんか</p>
<p>中尾委員</p>	<p>高校生にも給食が開始されているため、食事時の挨拶の目標値を85%以上に引き上げて良いのではないのでしょうか。また、ぎょしょく教育の関心はもっと高いのではないかと感じています。参加する人は少ないかもしれませんが、指標の数値を上げて</p>

	<p>はでしょうか。</p>
影山委員	<p>高校生の挨拶の目標値 75%は低く、継続的な取組でより高い目標を目指せるのではないのでしょうか。</p>
竹田委員	<p>ぎょしょく教育の目標値を上げるべきだと思います。 食事の挨拶についても、差を設けず、全ての年代で 100%でも良いと思います。目標値なので、それを目指すことが大切だと思います。</p>
木原副会長	<p>協議の結果、高校生の食事時の挨拶の目標値については 100%、ぎょしょく教育の目標値については 80%に設定します。 次に第 6 章からの説明をお願いします。</p>
好岡課長補佐	<p>(第 6 章 食育推進の施策展開について、家庭、保育所、幼稚園、学校、地域、行政それぞれの役割に応じた取組と、六つの基本方針(つづける、よくかむ、はぐくむ、いただきます、みつける、ひろめる食育)ごとの取組目標を説明) (第 7 章 食育の推進に向けてについて、食育推進体制(愛南町食育推進協議会、食育共同部会)と、家庭での取組をサポートするための連携について説明) (参考資料として、愛南町の人口・世帯状況、愛南町後期高齢者会の設置要項、食育推進協議会・共同部会のメンバー、用語解説、な～しくんとぎょレンジャーを紹介)</p>
木原副会長	<p>全体を通して、質疑はありませんか。</p>
森岡委員	<p>用語解説が分かりやすいです。</p>
湯浅委員	<p>PTA においても、能登半島地震を受けて、災害に対する関心が高まっています。1 月に、非常時の栄養についての研修をする予定です。 自分で育てた食材を使って調理をすることで、もったいないという意識ができて食品ロスにつながったり、生産者の顔が見えると地場産物についても関心が持てるのではないかと思います。</p>
好岡課長補佐	<p>欠席した田中委員からのコメントを紹介します。</p>

	<p>子供たちの元気いっぱいの表紙やひおうぎ貝と愛南ゴールドのけい線、愛南ぎょレンジャーなど、愛南らしい爽やかな温かみのある計画書になっていると感じます。現状を踏まえて、脂質異常症の有所見者の割合を減少させる取組が必要だと強く感じました。以上です。</p> <p>御意見を踏まえて、簡易な修正については、事務局と大学の先生、推進協議会長、部会長に一任していただいでよろしいでしょうか。</p>
<p>全委員</p>	<p>(承認)</p>
<p>好岡課長補佐</p>	<p>食育推進計画のパブリックコメントを、1月に実施する予定です。パブリックコメントを受け、大きな内容の修正があった場合は、第4回の推進会議を開催します。また、計画書を基に概要版の作成をします。</p> <p>3月に計画書と概要版を仕上げ、ホームページに掲載します。</p>
<p>中川課長</p>	<p>閉会に当たり、副町長の木原が挨拶申し上げます。</p>
<p>木原副会長</p>	<p>(閉会挨拶)</p>
<p>中川課長</p>	<p>以上をもちまして、令和6年度第3回愛南町食育推進協議会を閉会します。</p>